



日本共産党中央区議会議員

奥村あきこ レポート



奥村あきこ事務所 佃2-22-6-C309
区議団控室 電話 3546-5575
中央地区委員会 電話 3551-6820

▼エアコン購入費助成 ▼発達障害の支援体制 など拡充し、区民生活を支える役割を

6月18日～6月30日まで区議会第二回定例会が開かれ、6月22日に私、奥村あきこが日本共産党区議団を代表して一般質問を行いました。

エアコン購入費助成について

日本共産党区議団が求めてきたエアコン購入費助成は、2025年から実施されていますが、今、「エアコンの2027年問題」に不安の声が広がっています。

低価格エアコンがなくなる?

国が2022年に策定した省エネの新基準に伴い、基準を満たさない従来型の「安いスタンダードモデル（5～6万円台）」の製造・



日本共産党
中央区議団
HPはコチラ

【代表質問項目】

1. イラン攻撃による物価高騰・資材不足に対する支援について
2. 市街地再開発事業についてに賃上げ支援について
3. エアコン購入費助成について
4. 小児発達障害の支援体制について

販売ができなくなり、市場から姿を消していくことが懸念されています。2027年から順次適用していくとのことですが、私が区長に対し、

▼省エネ新基準を満たす高額のエアコンにも対応するよう、助成額を拡充すること

を求めたところ、区長は「エアコンの実勢価格も踏まえ、助成上限額の検証を行なっていく」と、前向きな答弁でした。

他区のように、対象者拡大や 立て替え制度の見直しを

さらに私は、区長に対し、

▼中央区の助成対象世帯は「住民税非課税世帯」「生活保護を受給

中の世帯」限定だが、23区中15区が実施しているように「住民税均等割のみ課税世帯」や「児童扶養手当受給世帯」も対象とすること

▼中央区の助成制度は、利用者が一旦は購入資金を立て替える「償還払い」だが、他区では自治体が支給する補助金を利用者本人に代わって家電量販店などが直接受け取る「代理受領払い」としているところもある。中央区でも実施を

▼大家として、区営住宅などへの設置と、東京都に対しても都営住宅などへの設置を求めること

などを求めました。

区長からは「代理受領払いの導入効果について検討している」との答弁があった一方、対象者の拡大や区営住宅へのエアコン設置については「考えていない」と後ろ向きでした。

エアコンは命を守るための必需品です。多くの区民の皆さんに利用していただける制度とするため、今後も頑張ります。



(・・・裏面に続く)

(・・・表面から続く)

発達障害支援について

一般質問では、小児発達障害の支援策についても質問しました。支援を必要とする子どもたちが増加しており、早期に適切な支援に繋げることが重要な一方、医療の受け皿が足りていません。

課題となっている待ち時間

区長に、発達に不安のある子どもの潜在的な人数や発達障害の診断を受けた子どもの人数、中央区の「子ども発達支援センター」ゆりのき」で面談や療育指導などを受けるまでにかかる時間についてを質問しました。

区長は「直接的には把握していない」とのことでしたが、「『ゆりのき』への相談者数や児童支援サービスの利用者数が増加傾向にあることから、確実に増加している」との認識を示しました。

「ゆりのき」での待ち時間については「概ね1カ月程度」との答弁で、早期の支援につながらない課題が浮き彫りとなりました。

病院と協定を結ぶなど

待ち時間短縮と支援強化を

目黒区は、発達に不安がある子どもについて、医療機関での初診待ちの長期化等が課題となる中、2026年3月、目黒区内にある

「厚生中央病院」と協定を締結しました。同病院の小児科内に、小児発達障害の専門外来日を設けて、目黒区民を優先して受け付ける仕組みです。

中央区でも、聖路加国際病院と協定を結ぶなど支援強化を区長に求めたところ、「目黒区の取組は早期に受診できる環境につながるもの」「その効果等を慎重に見極める」との答弁でした。

早期の課題解消が求められます。

発掘調査現場見学会

— 明治・大正期の海軍の遺構の公開 —

中央区築地五・六丁目では、築地まちづくり事業に先立ち、令和7年7月より埋蔵文化財の発掘調査が行われています。

築地は、明治初期以降、海軍省の用地として使用され、多くの関連施設が設けられました。この見学会では、明治・大正期の海軍に関わるレンガ遺構を中心に、調査で出土した遺物を現地で公開します。



開催日時

令和8年7月12日(日)

開催時間 9:00～13:00(受付終了12:30)

入場無料・事前申し込み不要・少雨決行 ※自由見学

海軍の製鋼所の底等(明治・大正期)



会場 東京都中央区築地五丁目・六丁目地内
※左図の「会場入口」より場内へお進みください
アクセス 東京メトロ日比谷線「築地駅」1番出口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線「築地駅」A4出口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線「築地駅」A1出口より徒歩12分
※場内には駐車場、駐輪場がございます。
徒歩または公共交通機関でお越しください。
お問い合わせ 東京都埋蔵文化財センター調査研究部
電話: 042-374-8044 (平日 9:00～17:00)
その他 ○雨天の場合は7月19日(日)に繰延べとなります。
当日の開催状況につきましては、下記の都庁ホームページをご覧ください。(URL: <https://www.tomailbun.jp/>)
○動きやすい服装、歩きやすい靴をお越しください。
○サンダル・ハイヒールでの来場はご遠慮ください。
○場内は段差が多いため、介助が必要な方は介助者と一緒にご来場ください。
○席間の誘導・指示に従い、見学エリア以外の立入はご遠慮ください。
○場内での飲食および喫煙はご遠慮ください。
○場内には日陰がほとんどありません。
ご来場の際は、各自で熱中症対策をお願いいたします。

共催 東京都都市整備局・東京都教育委員会・築地まちづくり株式会社
公益財団法人東京都教育支援機構 東京都埋蔵文化財センター
都庁ホームページQRコード

築地に眠る「浴恩園」の公開、再生の実現を

7月12日、再開発が進む築地市場跡で出土した明治期の旧海軍施設の遺跡が一日限定で一般公開され、多くの人で賑わいました。東京都の都市整備局は、一部を移設・保存する方針とのことです。

発掘調査では、江戸時代に松平定信が築いた庭園「浴恩園」の池の護岸の石積みなども出土しています。

築地の再開発計画にある5万人を収容するスタジアムや巨大なオフィスビル、ホテルなどの建設ではなく、次世代に引き継ぐべき財産として、浴恩園遺跡の公開と再生、公園整備で緑のまちづくりを目指しましょう。

なんでも

生活相談

3546-5563 (区議団控室)

3551-6820 (地区委員会)

無料

法律相談

毎月第3火曜日3時から

要予約 連絡先は同上

